

■背景・目的

三の丸地区は、国・県・市の行政機関が集まる中部圏の官庁機能の中枢であり、大規模災害でも行政機能を止めず、事業が継続できるための強靭性が求められるエリアである。しかし、地区内の官公庁施設は築年数が経過したものが多く、南海トラフ巨大地震など広域大規模災害時の事業継続・災害対応には課題があると考えられる。
本調査研究では“広域大規模災害時”を前提とし、ハード（建物・設備等）とソフト（組織間の連携等）の現状の課題を把握し、大規模災害にも強く平時にも有事にも機能する官庁街として、将来的な三の丸地区のあり方を提案することを目的とする。

■調査研究の内容

- ・ 中部圏における、広域大規模災害時の防災計画と現状の連携体制（文献調査）
- ・ 行政機能・官庁機能（BCP）のハード・ソフトの課題を把握（建物調査・ヒアリング調査）
- ・ 民間の都市開発、官庁施設の建替による機能更新の先行事例を調査

調査：中部圏における、広域大規模災害時の防災計画と現状の連携体制

高次支援機能：豊山町
「愛知県基幹的広域防災拠点」
2025年を目途に、名古屋空港隣接地に完成予定

司令塔機能：三の丸地区
「政府合同現地対策本部」
2015年に、名古屋第2合同庁舎が設置場所として指定される

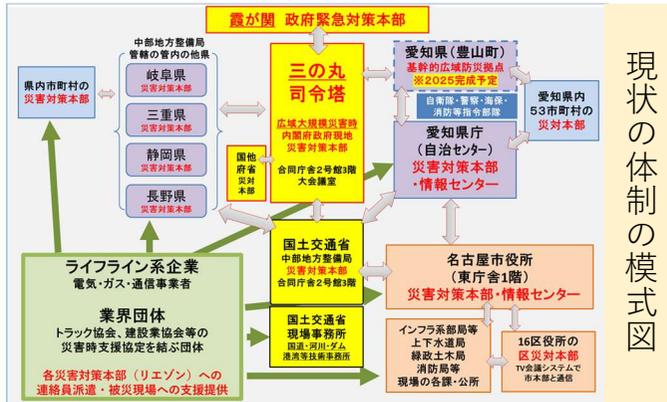
■広域防災に必要な中核的な、防災拠点の機能とその役割

「高次支援機能」
県境を越える広域的な災害対策活動を展開

「司令塔機能：合同現地対策本部」
県境を越える被災地全体に関わる、広域的な災害対策活動の総合調整を行う現地の司令塔

▶阪神淡路大震災を教訓に、国の防災基本計画が全面修正される。中部圏における、広域防災の基本的な考え方として「名古屋圏広域防災ネットワーク整備基本構想（平成16年）」が策定された。その中で、三の丸地区は「司令塔機能」として、国の名古屋第2合同庁舎が設置場所に指定され、現体制では、三の丸司令塔と各機関の本部は、情報通信システム等で連携する体制が構築される（図参照）

国・県・市の対策本部



現状の体制の模式図

調査：行政機能・官庁機能（BCP）のハード・ソフトの課題を把握

■調査の概要

- ・ 市役所の3庁舎を対象に、建物・設備等の課題・リスクを、専門家と共に建物を実地調査
- ・ 防災に関わる有識者、行政・企業の実務者へ、災害対策機能の課題をヒアリング調査

■調査の結果（要約）

- ハード▶設備は非耐震構造、老朽化による設備機器、天井等の損傷（写真イメージ：東日本大震災の被害）
- ソフト▶企業のリエゾン派遣や、支援協定の重複など官民連携の課題（表：災害時支援協定の締結状況）



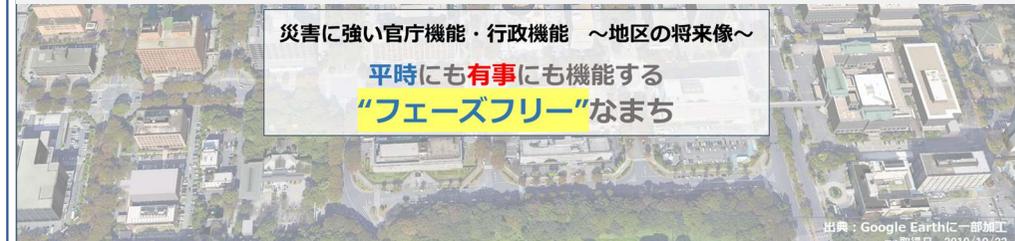
業界団体▶依頼が殺到すると傘下企業への“情報伝達・支援リソースの配分”が難しい
行政機関▶現状は、それぞれの災対本部、各局の組織から、協定先に個別に支援を要請

中部圏域の行政と業界団体の協定の締結状況（一例）

協定の支援内容	業界団体	中部圏域の行政機関					
		中部 地整局	愛知県	名古屋市	岐阜県	静岡県	三重県
支援物資輸送	全日本トラック協会		●	●	●	●	●
道路啓開・工事	日本建設業連合会	●	●	●	●	●	●
水道復旧工事	日本水道協会		●	●	●	●	●
医療・DMAT	日本赤十字社		●	●	●	●	●
燃料資機材供給	石油業協同組合	●	●	●			
燃料資機材供給	石油連盟		●	●			●

アウトプット：災害に強い官庁街、三の丸地区のあり方 ～地区の将来像～

まとめ：もしもの際にも機能する“フェーズフリー”の考え方で、三の丸地区に必要な機能を導入し、災害に強い空間づくりや、強靭性のある建物の整備、災害時に使用可能な施設を備えておくことで、地区全体の強靭性を高め、産官の連携で、日常では周辺エリアと一体となった都心部の賑わいの創出、官庁の中枢機能を活かした、名古屋圏域の活性化につながる、まちづくりを進めていくことが重要。



平時 「行政機能・賑わい機能」	備えるべき機能	有事 「防災機能・BCP強化」
来訪者の憩い・賑わい・イベント空間	オープンスペース (活動空間)	防災公園機能 災害支援車両の集結、本部との連携
グリーンインフラ・ウォークابل空間 ヒートアイランドの抑制	緑地スペース (道路・舗装面積の削減)	一時避難スペース 雨水の吸収・周辺冠水の防止
省エネ・CO2の削減・低炭素エリアの実現	ガスコージェネレーションシステム（発電機能）	電源の多重化・周辺への電力供給 →地区内のBCPの強化
賑わいの創出、行政の会議室不足の解消 産官連携セミナーの開催による活性化	多目的ルーム・会議室 (民間利用が可能な施設)	災害時のオペレーションルーム →官民が一堂に会する「合同対策本部」 理想的な「三の丸司令塔」機能